

フラウンホーファー・産総研共同ラボ「フラウンホーファー・プロジェクトセンター」開設記念 Electroactive Polymer (EAP) 研究シンポジウム

„Fraunhofer Project Center“ Opening Symposium on Electroactive Polymer (EAP) Research

<ご挨拶>

Electroactive polymer (EAP) とは、電気的に活性な高分子の総称で、電気駆動ソフトアクチュエータをはじめ、センサ、環境発電等、様々な産業応用が期待されています。

産業技術総合研究所健康工学研究部門では、2012年よりドイツ・フラウンホーファーIPA (生産技術・オートメーション研究所) とEAPアクチュエータデバイス開発の共同研究を進めてまいりました。今回、その共同研究をさらに発展させ、EAPデバイスの国内企業への技術移転を目的とした国際共同研究プロジェクトを進めるため、産総研関西センター内にて共同研究ラボを開設することとなりました。

本シンポジウムは、この国際共同研究のパートナー企業の募集を目的としたものであり、これまでの共同研究の成果と、今後の共同研究ラボ開設に伴うプロジェクト及び日本国内企業への技術移転の仕組みの説明を行います。基調講演は、この分野のパイオニアのご研究で有名な東京工業大学の福島孝典先生にお願いしております。

EAP研究開発にご関心のある、関連企業、研究機関の皆様にご参集頂けましたら、まことに幸いです。

<シンポジウム>

【日時】平成26年10月2日(木) 14:00~17:30

【会場】グランフロント大阪北館タワーBカンファレンスルーム
Room B01+02

【主催】(独) 産業技術総合研究所 健康工学研究部門

【共催】フラウンホーファーIPA (生産技術・オートメーション研究所)、(独) 産業技術総合研究所 関西センター

【後援】近畿経済産業局、NEDO関西支部、大阪商工会議所(予定)、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、ドイツ・科学イノベーションフォーラム東京

【言語】日本語、英語(同時通訳あり)

【定員】100名

【参加費】無料(ただし交流会参加費は別途4,000円)

<お申込方法>

平成26年9月25日(木)までに以下のページよりお申込み下さい。

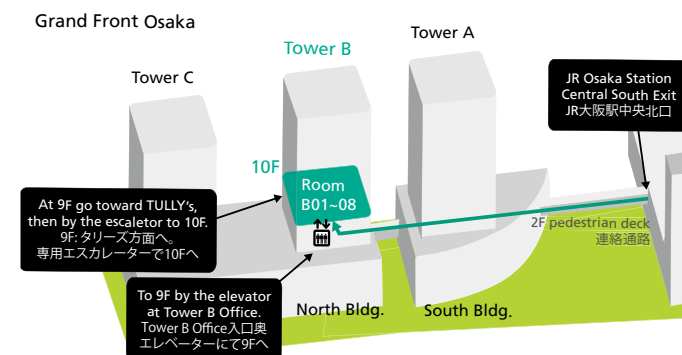
<https://unit.aist.go.jp/kansai/event/2014/eap/registration.html>

申込ページが表示されない場合は、メールにて

①氏名②ふりがな③所属④交流会参加の有無を連絡先までお知らせください。

<会場>

グランフロント大阪北館タワーBカンファレンスルーム Room B01+02
(大阪市北区大深町3-1)



JR大阪駅、地下鉄御堂筋線梅田駅、阪急梅田駅、阪神梅田駅よりそれぞれ徒歩5分程度

<連絡先>

産業技術総合研究所 健康工学研究部門
人工細胞研究グループ グループ長 安積欣志
Tel: 072-751-9180
E-mail: asaka-kinji@aist.go.jp

PROGRAM

13:30 開場 / Entry

14:00 開会挨拶 / Opening Remarks

産業技術総合研究所 理事 瀬戸 政宏

Dr. Masahiro Seto, Vice President, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)

フラウンホーファーIPA (生産技術・オートメーション研究所)
所長 トーマス・バウアー・ハンズル

Prof. Thomas Bauernhansl, Director, Fraunhofer Institute for Manufacturing Engineering and Automation IPA

14:15 来賓挨拶 / Greetings

経済産業省 産業技術環境局 審議官 安永 裕幸 氏

Dr. Yuko Yasunaga, Deputy Director-General, Industrial Science and Technology Policy and Environment Bureau, Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

総領事 インゴ・カールステン氏

Dr. Ingo Karsten, Consul General, Consulate General of the Republic of Germany in Osaka-Kobe

14:30 基調講演 / Keynote Speech

「バッキーゲルアクチュエータ(仮)」

東京工業大学 教授 福島 孝典 氏

„Bucky-Gel Actuator“ (tentative)

Dr. Takanori Fukushima, Professor, Tokyo Institute of Technology

15:20 講演 1 / Talk 1

「国際共同研究プロジェクト紹介」

産業技術総合研究所 健康工学研究部門
グループ長 安積 欣志

„Introduction of Fraunhofer Project“

Dr. Kinji Asaka, Group Leader, Health Research Institute, AIST

15:40 講演 2 / Talk 2

「産総研EAP研究紹介」

産業技術総合研究所 健康工学研究部門 主任研究員 杉野 卓司

„Introduction: EAP Research at AIST“

Dr. Takushi Sugino, Senior Researcher, Health Research Institute, AIST

16:05 休憩 / Break

16:25 講演 3 / Talk 3

「フラウンホーファーEAP研究紹介」

フラウンホーファーIPA 機能性材料部門
グループリーダー カーステン・グランツ

„Introduction: EAP Research at Fraunhofer IPA“

Mr. Carsten Glanz, Group Leader, Functional Materials, Fraunhofer IPA

16:50 講演 4 / Talk 4

「国際共同研究のメリット」

フラウンホーファーIPA 機能性材料部門
部門長 イヴィツァ・コラリッチ

„Advantages of the International Collaborative Research“

Mr. Ivica Kolaric, Head, Functional Materials, Fraunhofer IPA

17:10 総合討論—質疑応答 / Discussion and Q&A

17:20 閉会挨拶 / Closing Remarks

産業技術総合研究所 理事 湯元 昇

Dr. Noboru Yumoto, Vice President, AIST

17:30 閉会 / Closing

17:45-19:00 交流会 / Reception

於:カンファレンスルーム Room B08 (参加費4,000円)
at Conference Room B08 (Participation Fee: 4,000 Yen)